ICT プログラミング教材保有・支援内容調査ご回答のお願い

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

プログラミング教育委員会 委員長 田中邦裕

かねてより、企業における IT 人材不足は課題とされていますが、第4次産業革命といわれる昨今、すべての

サービスが IT を活用する現代では、更なる人材不足が予測されており、2030 年までに IT 人材は約80万人

不足する、といった経済産業省の調査結果も発表されています。

そのような課題を解決するためにも、未だに根深く残る IT 業界の悪いイメージを払しょくさせ、小中学生を

はじめとする子供たちに、業界に興味を持ってもらい、将来の IT 人材としての活躍してほしい、と期待する

ところです。

既にニュースでも話題となっているように、2020年から小学校でプログラミング教育が必修化されます。

CSAJ プログラミング教育委員会では、2018 年度の活動の一つとして、企業・団体と学校・教育委員会をつ

なぐ、ハブのような役割を担い、学校現場によりよいプログラミング教育を届け、IT に興味をもってくれる

子供たちを増やしていきたいと考えております。

そこで、まずは企業の皆様が、学校・教育委員会・塾などの教育現場に対し、どのような製品・サービス・コ

ンテンツを保有しているのか(予定含む)、各社が子どもや先生に対して、提供可能なコンテンツを募集・調

査します。

CSAJ に企業の教育コンテンツを集約させ、そこから学校・教育委員会・塾などの教育現場がどのようなコン

テンツを求めているのか、将来的に企業と学校のマッチングの仕組みを構築することが目的です。

それにより、会員企業の皆様のビジネスにもつなげ、教育現場はもちろん将来の IT 人材を担う児童・生徒に

より良いコンテンツを提供し、IT 業界への興味・関心を持ってもらうことで、将来的な IT 人材不足を解決す

るための一助となればと思う次第です。

つきましては会員企業の皆様におかれましては、本調査にご協力をお願いしたく、以下の設問をご確認のうえ、

ご回答をお願いいたします。

※本調査結果は CSAJ Web サイト等での公開を予定していますのであらかじめご了承願います。但し、具体的なコンテンツ・支援内容(Q7)

の掲載方法については、対象者に対し、後日準備が整い次第改めてご連絡させていただきます。

本件に関する問い合わせ・回答票返送先

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

事務局 担当:若生

TEL: 03-3560-8440 E-mail: gyoumu1@csaj.jp

【ICT プログラミング教材保有・支援内容調査 回答票】

■現∤	伏と今後の予定・希望	
Q1.	現在貴社において、教育機関に対して提供可能な、ICT プログラミング教育に関連した	教材・機器・支
į	援等はありますか?	
	ある(→Q2 へ) □ リリース予定(→Q2 へ) □ 検討中 (→ <u>Q8 へ</u>) □ た	ÿ() (→ <mark>Q8 ^</mark>)
■教育	育コンテンツ保有・予定している方(※Q1 で「ある」・「リリース予定」と回答した?	企業)
(複数	数選択可)	
Q2.	どの分野での教育コンテンツ・支援内容を保有(予定)していますか?	
	プログラミング教材(本) ロプログラミング教材(製品)	
	ICT 関連教材(本) 口 ICT 関連教材(製品)	
	ICT 支援員等人的支援 口 資金支援	
	その他()
Q3.Ç	Q2 の回答について、どの教育現場での利用されることを想定していますか?(複数選択R	可)
	学校(教科) □ 学校(総合学習その他) □ 課外・部活動 □ 私塾・ス	(クール
	行政機関(地域・教育委員会等) 口 その他()
Q4.Ç	Q2 の回答内容について、現在どのようなルートを中心に教育現場に導入していますか?	(複数選択可)
	学校への直接的な導入	
	個別問い合わせ □ 未開拓	
	その他()
Q5.Ç)2 の回答内容について、今後増やしていきたい導入ルートはどちらですか? (複数選択	[可]
	学校への直接的な導入 □ 教育委員会経由 □ 地元や大手企業販社との提携	
	個別問い合わせ □ その他()
Q6.C)2 の回答内容について、まだ実現できていない場合、その要因は何だと思いますか?	
•	、 パイプの不足、販売価格が合わない、競合他社が既に導入済みである、など)	

Q7. Q2 の回答内容について、保有・予定しているコンテンツ・支援内容について、以下欠詳細をご認入願います。

1. 教材内容

教材名称 1	
分類	□ プログラミング教材(本) □ プログラミング教材(製品)
	□ ICT 関連教材(本) □ ICT 関連教材(製品)
	□ その他()
教材概要	
製品リンク	
推奨対象	□ 未就学児 □ 小学校低学年 □ 小学校中・高学年 □ 中学・高校生
	□ 高等専門学校・専門・大学生 □ その他()
活用イメージ	□ 学校の授業(教科科目) □ 学校の授業(教科外(総合的な学習の時間等))
	□ 学校のクラブ活動、部活、土曜学習等課外学習で
	□ 地域でのイベントやワークショップ、塾などで
	□ その他 ()
必要機材・環境	□ パソコン □ タブレット □ 専用アプリケーション
	□ インターネット環境
	□ その他()
使用方法	
指導方法例の有無	□有□無
指導方法例(概要)	
価格	
その他特記事項	
教材名称 2	
分類	□ プログラミング教材(本) □ プログラミング教材(製品)
	□ ICT 関連教材(本) □ ICT 関連教材(製品)
	□ その他 ()
教材概要	
製品リンク	
推奨対象	□ 未就学児 □ 小学校低学年 □ 小学校中・高学年 □ 中学・高校生
	□ 高等専門学校・専門・大学生 □ その他()

活用イメージ	□ 学校の授業(教科科目) □ 学校の授業(教科外(総合的な学習の時間	等))
	□ 学校のクラブ活動、部活、土曜学習等課外学習で	
	□ 地域でのイベントやワークショップ、塾などで	
	□ その他()	
必要な機材	□ パソコン □ タブレット □ 専用アプリケーション	
	□ インターネット環境	
	□ その他()
使用方法		
指導方法例の有無	□有□無	
指導方法例(概要)		
価格		
その他特記事項		
教材名称 3		
分類	□ プログラミング教材(本) □ プログラミング教材(製品)	
	□ ICT 関連教材(本) □ ICT 関連教材(製品)	
	□ その他()	
教材概要		
製品リンク		
推奨対象	□ 未就学児 □ 小学校低学年 □ 小学校中・高学年 □ 中学・高校	生
	□ 高等専門学校・専門・大学生 □ その他()
活用イメージ	□ 学校の授業(教科科目) □ 学校の授業(教科外(総合的な学習の時間	等))
	□ 学校のクラブ活動、部活、土曜学習等課外学習で	
	□ 地域でのイベントやワークショップ、塾などで	
	□ その他 ()	
必要な機材	□ パソコン □ タブレット □ 専用アプリケーション	
	□ インターネット環境	
	□ その他()
使用方法		
指導方法例の有無	□有□無	
指導方法例(概要)		
価格		
その他特記事項		

※3つ以上ある場合はコピーして使用するか、上記内容がわかる資料を添付してください

2.	ICT	支援員等。	人的支援
∠.	101	又以大寸	$\mathcal{N}(\mathcal{N}(1))$

	派遣可能人数	名 ~ 名		
	過去経験有無	□ 有 □ 無		
	支援内容:	□ 授業支援 □ 部活動支援 □ その他()	
	指導例の有無:	□ 有 □ 無		
	指導内容:	□ ICT 機器利用指導 □ ICT 活用時の留意点(リテラシー)		
		□ プログラミング技術		
		□ 先生に対するプログラミング指導方法		
	利用可能言語(小学	□ Scratch □ Viscuit □ その他 ()	
	生向け)			
	利用可能言語 (中学・	□ Visual Basic □ C 言語関連 □ Java □ Javascript		
	高校生向け)	□ Scala □ PHP □ Python □ Swift		
		□ その他 ()		
	連絡事項:			
3.	資金支援			
	支援金額			
	申請方法			
	要件			
	連絡事項			
4. その他 上記以外に支援可能な事項があれば以下に記載してください。				
Q8		が教育機関に対し、より良いカリキュラムとして広まるために、どのような課題 貴社が考える主な課題について、 <u>3 つ以内で</u> 選択してください。	が	
	□ 技術知識を持つ外部人材の登用			
	□ 学校・教育委員会とのつながり			

	学校の先生の	理解・協力	
	学校の先生に	対する研修	
	指導内容(力	リキュラム)事例	
	国の全面的な	バックアップ体制	
	必要な予算確	保	
Q9 .1	企業が学校に対	付し、プログラミング教育等の支援を継続的に実施するため、	何が必要だと思いますか?
· (複数	效選択可)		
	国のバックア	'ップ体制や法整備	
	導入・運営資	· [金	
	教育に必要な	機材(機材内容:)
	指導内容(力	リキュラム)事例	
	学校とのマッ	チングの仕組み	
	指導者育成の	ための研修プログラム	
	その他		
Q10.	以下に CSAJ	プログラミング教育委員会への意見・要請等をご記入願いま [・]	व 。
意見	・要望等連絡	事項	
Q11.	回答者情報をご	ご記入ください	
(※回	回答者の個人情	報は公開いたしません。事務局との連絡窓口としてご記入を	お願いします)
企業	名		
氏名			

以上、ご回答ありがとうございます。

TEL

E-mail